

波音

なみおと



清水海岸だより 第9号(H21.12)



第9号の内容

- 特集：『三保の松原の景観づくりを考える』
- 地域活動の紹介：NPO 法人三保の松原・羽衣村

PHOTO：窪田 敏

三保の自然を題材にした絵画シリーズ(7)

木村武山『羽衣』(1920年代後期－30年代前期)

静岡県立美術館収蔵品



富士と松と天女の取り合わせで、三保の松原を舞台にした羽衣伝説を描く。砂子や切箔を散らした金地の中、仏画などの古典研究から得た優雅な天女が舞い、画面を華やかに演出する。天上へ向けて大きく開いたV字の構図が効果的。伝統的な主題を、確かな技術に基づいて近代的な感覚で表現した優品。(静岡県立美術館「富士山の絵画」より抜粋)

特集 三保の松原の景観づくりを考える

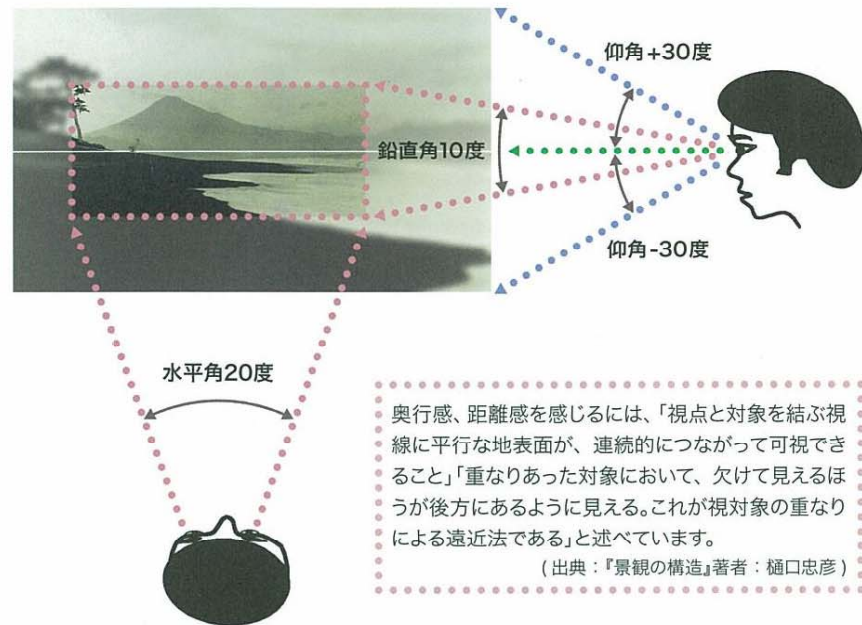
富士山が、世界文化遺産暫定リストに登録(2007.1)されたことで、富士山を借景とした良好な景観保全に対する意識が高まりつつあります。県では、海岸保全対策として、コンクリート堤防や消波ブロックを建設してきましたが、景観の阻害要素となっており、2008年には、「清水海岸三保の松原周辺景観検討会」を開催し、富士山を借景とする海岸線の景観のあり方についての検討を行いました。今回の特集では、富士山を借景とする『よい風景』について、過去の文献や科学的データなどから景観について考えてみます。

美しい風景の理由

景観工学から学ぶ

近年、景観工学という分野の研究が進んでいます。「よい風景」を感覚的に捉えるのではなく科学的に解明したものです。

- よい風景とは…
見たい風景対象が視野のなかで見やすい位置と大きさを与えられていること。
- 人が一点を見たときに心地よく見ることのできる視覚範囲…
水平角 20 度、鉛直角 10 度
- 人が視覚として見やすい角度…
仰角プラス 30 度～マイナス 30 度
(出典：『風景学入門』著者：中村良夫)



奥行感、距離感を感じるには、「視点と対象を結ぶ視線に平行な地表面が、連続的につながって可視できること」「重なりあった対象において、欠けて見えるほうが後方にあるように見える。これが視対象の重なりによる遠近法である」と述べています。
(出典：『景観の構造』著者：樋口忠彦)

日本最古の庭園書から学ぶ

作庭記とは、平安中期に書かれた日本最古の庭園書で、庭園づくりの手法の中には「よい風景」のヒントが隠されています。

作庭記には、「庭のおもとをよくよくうすくなくして、水のせせらき流を堂上よりみずべき也」とあり、海辺に例えれば、砂浜と海面をなるべくうすく(フラット)つながるデザインがよいと書かれています。
(出典：『作庭記』著者：橋俊綱)

むかしの三保鎌ヶ崎海岸の風景が美しかった理由

- 見たい風景対象が、見やすい「位置」と「大きさ」にある
- 砂浜が、ゆるやかに海面とつながっている
- 自然風景を邪魔する人工的な構造物がない
- 水際線や松並木ラインが、遠近感、奥行感を際立たせている

幻想的な富士山の見せ方

非日常空間づくりから学ぶ

絵画のような幻想的な「あっと驚く」非日常の風景に出会うことがあります。その裏には緻密な人間の心理をついた演出があったりします。

円通寺の庭は、「逆遠近」法をもちいて、前庭となる立石、立木、生垣を小さく見えるように細工することで、比叡山が見る人の印象に残るように配慮しています。
(出典：『庭 日本美の創造』著者：吉村貞司)

※樋口氏は、『景観の構造』のなかで円通寺の庭について、作られた生垣によって地表面が隠された結果、「距離感と奥行感の消失した虚像としての比叡」が現われたと述べています



円通寺の庭(京都)



羽衣の松東側からの富士山

羽衣の松付近の海岸からの幻想的な富士山

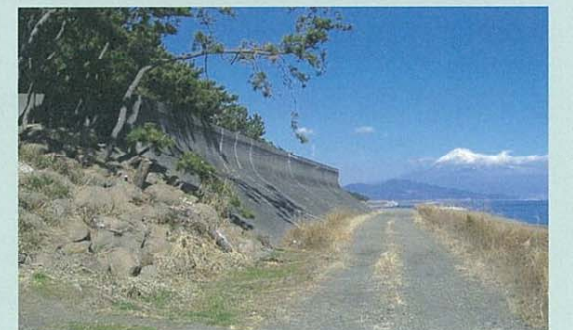
羽衣の松東側の海岸は、円通寺の生垣のように砂浜が「横切る」ことで、奥行感を無くし「平面的で絵画のような幻想的な富士山」が現われます。三保鎌ヶ崎の遠近感とは異なり「逆遠近」となって富士山が強調された風景と出合えます。

現在の取り組み状況

三保鎌ヶ崎の景観改善の取り組み



昭和30年ごろの姿



堤防が建設された姿

コンクリート堤防は、富士山の風景の阻害要素となっています



砂盛土で景観改善した姿

コンクリート堤防を試験的に砂の盛土で覆い良好な景観に改善してみました (2009.12 現在)



イメージ図

将来草が生えるとこのような姿になります

地域活動の紹介

【NPO法人 三保の松原・羽衣村】

- 設立：平成 15 年 8 月 6 日
- 会員：約 60 名
- 理事長：宮城島史人
- 目的：

三保の松原をテーマに地域住民や来訪者に対して、風土・歴史文化の研究と啓発、芸能による交流促進、良好な観光地づくり、自然環境保全などの事業を通して、地域づくり人づくりを進めながら郷土愛の醸成につなげることを目的としている。

● 過去の活動内容：

平成 9 年から活動開始。活動の内容は、学術講演会、能の上演、三保の松原景観保全の提言、散策マップづくり、松枯れ対策としての活性剤注入支援など多岐にわたっている。特に、写真・絵画・パネルなどを展示した展覧会『三保の松原展』は、過去に 4 回開催している。

■ 第 5 回『三保の松原展』開催の案内(予定)

会期：平成 22 年 2 月 10 日～ 12 日 (3 日間)

会場：羽衣ホテル

内容：

三保海岸から望む富士山の写真、三保の松原や羽衣の松などを題材とした写真・絵画・版画などを展示

(展覧会と合わせて作成される図録「図説三保の松原読本・三保の松原 美の世界」は、近隣の小・中学校に配布予定)

過去のパネル展示風景(三保半島の地形や絵画などを紹介)



「三保の松原 今昔」(清水区役所ロビー)



「三保の富士」(静岡県立美術館2階回廊)

Shimizu Kaigan Dayori NAMIOTO お問い合わせ、ご意見はこちらまで



New Public Engineering for SHIZUOKA

いっしょに、未来の地域づくり。

静岡県建設部

静岡県静岡土木事務所

静岡市駿河区有明町2-20 (〒422-8031)

TEL 054-286-9156 FAX 054-286-9100

URL <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-850/>

E-mail shizudo-kouji2@pref.shizuoka.lg.jp

